

(書式3-2-1)

離婚を求める訴えの訴状

訴 状

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所 御中

本 籍 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号  
住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号  
原 告 〇 〇 〇 〇

本 籍 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号  
住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号  
被 告 〇 〇 〇 〇

離婚請求事件

訴訟物の価額 金〇〇〇〇円

貼用印紙額 金〇〇〇〇円

## 請求の趣旨

- 1 原告と被告とを離婚する。
- 2 原告被告との間の子〇 〇 〇 〇（平成〇〇年〇〇月〇〇日生）の親権者を原告と定める。
- 3 被告は原告に対し、金 〇〇〇〇〇〇〇 円を支払え。
- 4 訴訟費用は、被告の負担とする。

との判決並びに第3項につき仮執行宣言を求める。

## 請求の原因

- 1 原告と被告は、平成〇〇年〇〇月〇〇日婚姻した。
- 2 ところが、平成〇〇年〇〇月ころから、被告において別紙「離婚原因事実」記載欄記載の事実が生じ、一向に改善されなかった。これは民法第770条第1項第1号に該当する。
- 3 そこで、原告は平成〇〇年〇〇月〇〇日、被告に対し離婚調停を申立てたが、平成〇〇年〇〇月〇〇日、同調停は不調となった。その経過の詳細は、別紙「調停経過」記載のとおりである。
- 4 原被告間の長男で未成年者〇〇〇〇（以下「〇〇」という）の親権者を原告とする理由は、別紙「親権者を原告とする理由」記載のとおりである。
- 5 被告に対し金〇〇〇〇〇〇〇円の給付を求める理由は、別紙「財産分与及び慰藉

料に関する主張」記載のとおりである。

6 よって、本訴に及ぶ次第である。

## 証 拠 方 法

|       |          |
|-------|----------|
| 甲第1号証 | 戸籍謄本     |
| 甲第2号証 | 証明書      |
| 甲第3号証 | 預金通帳     |
| 甲第4号証 | 不動産登記簿謄本 |

## 附 属 書 類

甲号証写し 各1通

(別紙)

## 離婚原因事実

1

2

3

(別紙)



1

2

3

(別紙)

## 親権者を原告とする理由

1

2

3

(別紙)

財産分与及び慰藉料に関する主張

1

2

3



## 解説

### 1 訴状を提出すべき裁判所

人事訴訟法第4条第1項により、家庭裁判所である（専属管轄）

### 2 請求の趣旨の中心は離婚すること（形成の訴え）、子の親権者を定めること、慰養料及び財産分与の支払いを求めることである。

### 3 請求の原因

離婚原因（民法第770条、第125条各号）を構成する事実を具体的に記載する。

